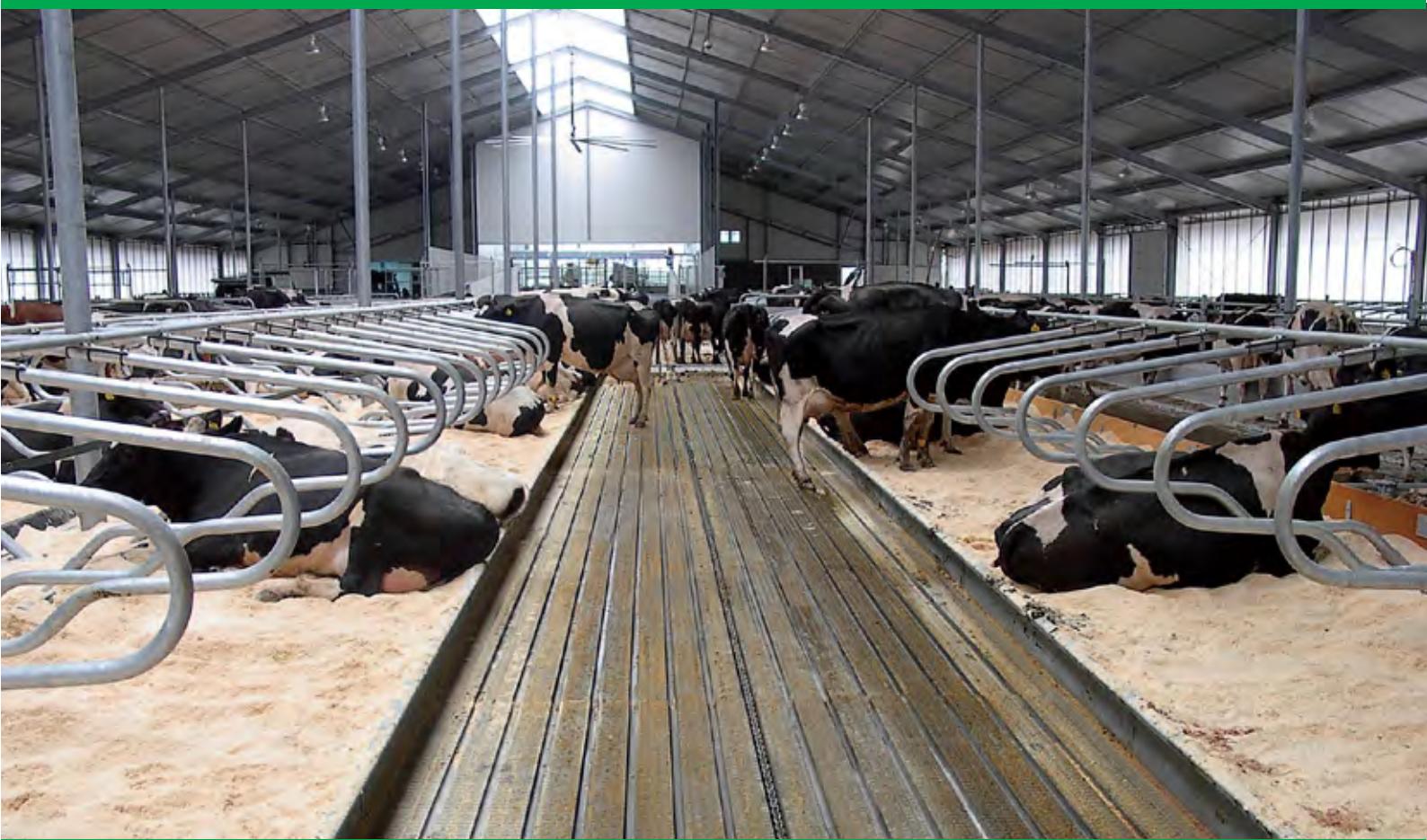




• 輸入元



ラクトシステム 株式会社



Scraper System スクレーパーシステム



JOZ MSCコントロールパネル

JOZコントロールパネルはスクレーパ駆動部の制御に限らず、凍結防止温度センサや牛追い装置、バーンクリーナ制御BOXなどのオプション装置と連携できる機能を備えています。1台のコントロールBOXで2台の駆動部を制御することができます。1台のコントロールBOXで2台の駆動部を制御することができます。コントローラはスクレーパの位置と負荷の大きさを常に監視しています。そのため、スクレーパ自体の破損や牛の事故を速やかに回避することができます。



機能と特長

- ✓ クロック内蔵で動作開始時刻を任意に設定できます。
- ✓ 1台のコントロールパネルで2台の駆動部を制御できます。
- ✓ 単相200Vを3相電源に変換してモーターを動作させます。
- ✓ オプションの温度センサによる凍結防止や電牧を利用した牛追い装置に対応しています。
- ✓ スクレーパの停止位置にスイッチは不要です。通路の長さはシステムに記憶されます。
- ✓ 通路長さの設定は自動的に行われます。
- ✓ バーンクリーナなどへの動作開始の指令を送ることできます。
- ✓ リフティングスラットの動作を制御します。
- ✓ 牛などによる異常な負荷を速やかに感知して自動停止します。その後自動復帰して動作を再開します。
- ✓ 過去10回までの警報履歴を記憶し、サービスに役立てるデータとして活用できます。



JOZ リフティングハッチ

牛の動線で、糞尿溝に蓋を設けなければいけないケースがあります。リフティングハッチはスクレーパ自体の力が作用して開きます。糞尿溝への糞の落としみが終わると、スクレーパはコントロールパネルからの指令によりスタンバイ位置までバックし、ハッチは閉じます。これによりローダーの走行や牛の移動を可能にします。リフティングハッチの施工で複雑なコンクリート施工を行う必要はありません。



バーンクリーナ

65年以上に及ぶJOZの歴史はバーンクリーナの開発で始まりました。現在においてもバーンクリーナは、フリーストール牛舎で利用されています。その多くは、スクレーパシステムと併用して利用されています。



コントロールパネル

外形寸法：	270 x 195 x 128 mm
重量：	1.7 kg
電源：	単相200 V 47~63Hz
周囲温度：	-20 ~ 40 °C
周囲湿度：	50 ~ 95%

スクレーパ

床からの高さ：	210 mm
重量：	約100 kg (通路幅により変動)
電源：	単相200 V
モーター容量：	0.5kW / 0.75kW
ギアドモーター：	フルオイルバス 5.4rpm
走行速度：	4m/分
コーナーローラー：	直径290 mm
チェーン：	13mm

●ご用命は...